

今月の「どうする」は、「大雨の対策」

防災と言えば地震の事ばかりを考えがちですが、大雨、豪雨の季節となり、土砂災害、水害などが起こりやすい状況になります。今月は、大雨に備える防災についてチェックしておきましょう
普段やっておくこと

1. ハザードマップを見て、自分の地域を歩いてみて、あらかじめチェック！

- 崖地はありませんか。(石ころがゴロゴロした斜面などはありませんか)
- 低い土地はありませんか。(水が流れ込む可能性はないか？ 坂道の下の方は水がどんどん流れてきます。階段になった道路なども危険です)
- 河川の氾濫の危険性はありませんか。(普段、水量が少ない川も、一度にたくさんの雨が降った時、河川が氾濫するおそれがあります)

2. 雨や風が強くなる前に備えを行いましょう

- 側溝や、排水溝は掃除をして水はけを良くしておきましょう
- 飛ばされやすいものや、アンテナ、プロパンガスのボンベなどは固定しておきましょう

3. 各家庭で備蓄をしておきましょう

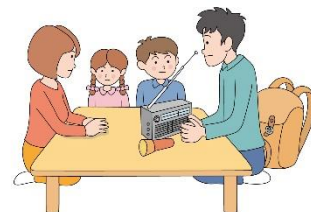
- 飲料水・食料の備蓄
- スマートフォンや携帯の充電(避難勧告等のお知らせは携帯に届きます)

4. 避難の準備をしておきましょう

- 非常持ち出し袋の準備をしておきましょう
(大雨の時期は、雨の中の避難が想定されますので、着替えやタオルなどの準備をしましょう。また、持ち出し品などは濡れないようにチャック袋などに入れて用意しておくといいでしょう。地震用として準備されている方は見直しをしましょう)

大雨、豪雨の時注意すること

- 車で移動中はアンダーパスに注意しよう
- 徒歩での移動は側溝や、路肩に注意しよう
- 地下にいるときは地上に移動しよう
- 急な斜面からは離れよう



避難勧告が出た場合

- 高齢者等避難が自治体から出た場合、要支援者(子供、高齢者)は避難
- 避難指示が自治体から出た場合、一刻も早く避難
- 避難は明るいうちに
- 避難所への避難が困難な場合は垂直避難(山、崖から離れた2階以上に避難)

※ 避難勧告、緊急避難所の開設の情報はテレビ、ラジオ、防災ホットメール、LINEにより手に入れることができます。あらかじめ受信設定をしておきましょう